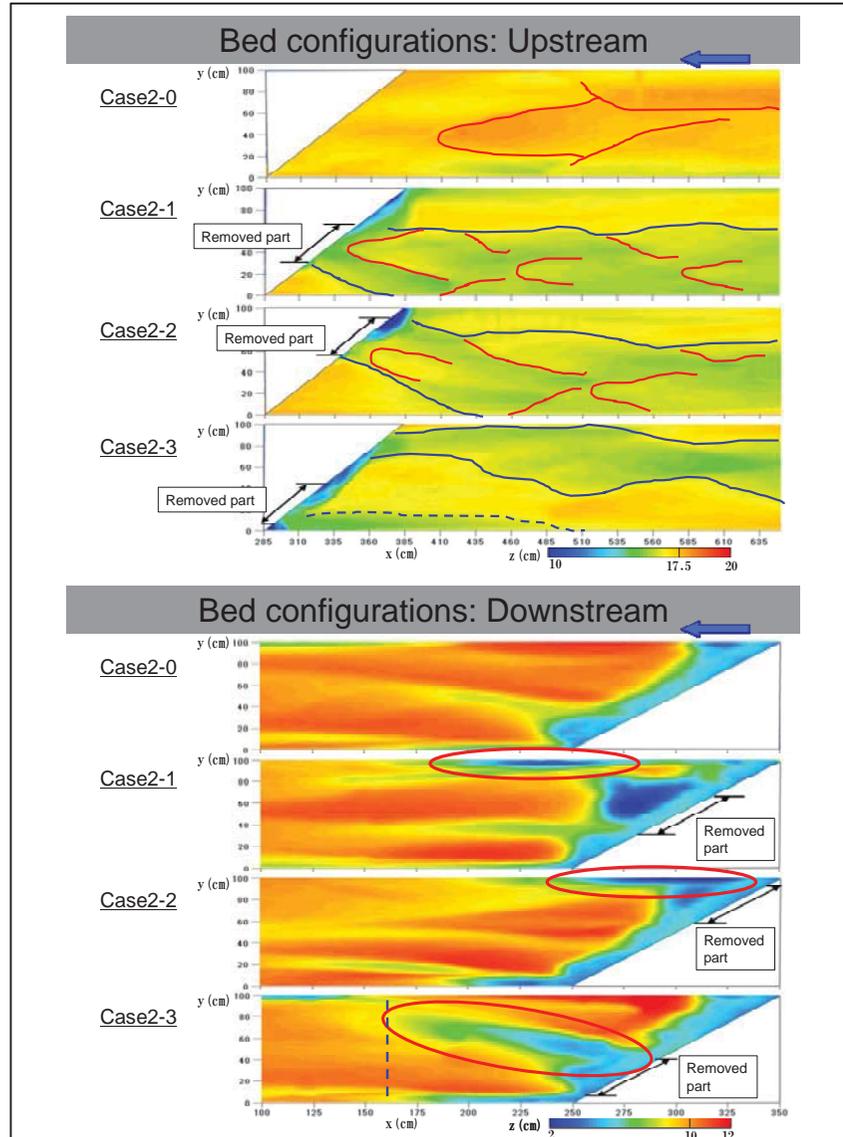


横断構造物の部分撤去に伴う河床変動

[キーワード: 横断構造物, 部分撤去, 河床変動]

教授 武藤 裕則



内容:

わが国では、大戦後の荒廃した国土を襲った大型台風や前線性降雨等により頻発した水害を教訓に、昭和30~40年代にかけてダム・堰の新設や河道整備など様々な方策により治水安全度の向上が図られてきた。しかしながら、同時に河川環境の劇的な変化をもたらした。近年、そのような現状に対する反省から、河川環境の保全・回復・創出に対する問題意識は著しい高まりを見せ、特に、河道の縦・横断形状の改善、すなわち連続性の確保や水陸移行帯の形成に関して、具体的な提案が求められている。

河道の縦断連続性を確保するにあたって、大きな問題となるのが、ダム・堰・落差工などの河道横断構造物である。これらの構造物は、それ自体が水生生物の遡上に対する最大の阻害要因となることに加え、その設置地点において上・下流の河川構造および景観を一変させ生態系に著しく影響を与えることから、連続性の改善を目指す基本的な方向性としては撤去されることが望ましい。

本研究では、このような構造物を撤去した際の河道の応答特性を実験的に検討することを通して、護岸等の治水施設に与える影響や河川環境改善への効果についての評価を試みている。

分野: 水工学

専門: 河川工学

Tel. 088-656-7329

Fax: 088-656-7329